

「走り行者」健脚競う

出羽三山トレイルラン大会に217人

出羽三山の参詣者が、217人の「走り行者」が健脚を競った。通った六十里越街道を舞台にしたトレイルランニング大会が19日、西川町や鶴岡市で開か

れ、217人の「走り行者」が健脚を競った。2016年に「出羽三山」が日本遺産に認定されたことから、自然や文化遺産などの魅力を全国にPRしようと、月山朝日観光協会などで構成する出羽三山「生まれかわりの旅」推進協議会が企画。



木々の間を走り抜ける参加者―西川町で

西川町本道寺の本道寺口之宮湯殿山神社付近をスタート地点に、フル(42キ)は鶴岡市松根の八幡神社、ハーフ(20キ)は同市田麦俣の湯殿山参籠所まで5部門に10、70代が参加し、ブナ林などの自然の中を走った。